


【取組 10】震災遺構の地域資源化に向けた取り組み

(プラン記載箇所：54、55ページ)

＜目指す姿＞

- ◆ **ユネスコ世界ジオパークの認定**を目指し、能登地域の**地質・地形資源に関する保全・研究・教育・普及活動**及び**ジオツーリズム等**を通じた**持続可能な地域づくり**が活発に行われている能登の実現。
- ◆ デジタルアーカイブとして、**地震への対応記録**や**検証結果**、**復旧・復興の過程**などを収集・公開し、今後の災害対策や防災学習等に活かしていくとともに、蓄積した教訓、ノウハウ等を国内外に共有。

プラン掲載の取組 (別冊の掲載ページ)	内容	短期 (～R7末)		中期 (～R10末)			長期 (～R14末)				
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
① 地盤隆起や断層等の地域資源化に向けた調査 【企画振興部、生活環境部、文化観光スポーツ部、教育委員会】(104ページ)	地盤隆起など地震による被害や教訓など後世に伝えるべき歴史的・文化的価値を持つ遺構について、国等による学術的な調査を進めるとともに、 地元の意向も踏まえながら 、ジオパークなど震災遺構の地域資源化に向けて保存・活用方を検討していきます。	・地域資源調査 ・市町を対象とした勉強会開催			日本ジオパーク登録申請			ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取り組み			
② デジタルアーカイブの構築と運用 【総務部】(17、122ページ)	被害の実情や復旧・復興の過程で得た教訓・ノウハウ等が記録された資料を収集・蓄積し、今後の災害対策や防災学習等に活かしていくとともに、収集資料等を広く公開し、蓄積した教訓、ノウハウ等を国内外に共有します。	・資料収集・加工・整理 ・デジタルアーカイブの構築 ・コンテンツの充実									

現在の状況	今後の進め方
① ユネスコ世界ジオパーク認定を目指す ことを念頭に、有識者との意見交換を実施。地域資源調査を実施できるよう調整中。	・能登を対象に地域資源調査を実施予定。並行して勉強会等を開催し地域の機運醸成を図る。 日本ジオパークネットワーク等と連携 し、 地元の意向を踏まえながら 、ユネスコ世界ジオパークの前提である日本ジオパーク認定に向けた推進体制の構築、ジオパーク活動についての検討を進める。
② 県内市町及び関係機関から関連資料を収集し、 「令和6年能登半島地震アーカイブ」を令和7年1月に公開 。3月に公開資料の点数を拡充するとともに、新たなコンテンツや機能を追加。 	・今後も被害状況や復旧・復興の様子が分かる写真・映像等を充実させるほか、「災害対応等の記録」や「被災者・支援者の証言」など、利用者の地震や防災に対する理解促進のためのコンテンツも作成し、順次公開する。

関連する指標 (R7.12末時点)	発災直後	R6.12末時点	現 状	目 標
現時点で関連指標なし				
収集資料の公開状況	—	2.5 % 〔公開点数：513点 収集資料：20,921点〕	45.5 % 〔公開点数：22,752点 収集資料：49,989点〕	100 %
公開動画本数 動画視聴回数	—	—	10本 4,820,591回	—